

原美術館NEWS

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART NEWS

vol.28

平成29年度

今年は酉年、 当館蔵『平家物語絵巻』に描かれた闘鶏

一般財団法人林原美術館 館長 谷一尚

今年は酉年。当館には西（鶏）に関連した収蔵品が

豊後国萩原に配流されます。

たくさんありますが、今回とりあげた図（左下）は『平家物語絵巻』卷第十一中の闘鶏の場面。紀伊熊野別当の湛増が源（白旗）平（赤旗）どちらにつくか悩み、白鶏と赤鶏七羽ずつで闘鶏を行ったところ、赤鶏は一羽も勝てず逃げ、湛増は源氏方につくことを決意。その勢二千余人を集め、軍船二百艘に分乗、壇ノ浦に漕ぎ下り源氏を勝利に導きます。この絵巻は、元々旧越前国福井藩主松平侯爵家に伝来したもの。一九二九年（昭和四）二月二日、東京美術俱楽部での所蔵品入札会に「七二、平家物語、三六巻」とあり、古美術商「森与」が五、一九〇円（当時の物価との比較はむづかしいですが、例えば、省線→国鉄→J Rと変遷した初乗運賃では四、六五八万円）という当時としては超高値で落札。大戦後、東京の古美術商藤城銀次郎の仲介で、林原一郎が入手、当館の所蔵となつたものです。

越前松平家の藩祖は、家康の次男、結城秀康。二代将軍秀忠（家康の三男）の兄。秀吉の養子となり、羽柴姓を名乗り、次いで下総国結城晴朝の養子で一〇・一万石。関ヶ原の戦では上杉氏の動きを抑え、戦後、越前国六八万石を領有し、松平姓に戻りました。秀康の長男（家康の孫）が、忠直。父の歿した一六〇七年（慶長一二）、その遺領を継ぎ、豊臣氏が滅んだ大坂夏の陣では、昨年大河ドラマ『真田丸』で話題となつた敵将真田信繁（通称幸村）を討ち取る大功をあげますが、恩賞を不満とし、家康歿後は参勤を怠るなど不遜で、一六二三年（元和九）改易、

忠直の一六〇七～二三年の北庄藩主（当時は福井に改名の前）期に、越前藩の財力を惜しげもなく投入し、家康直系孫の人脈を生かして、岩佐又兵衛（攝津伊丹城主荒木村重の子、信長を裏切ったため、婦女子は皆殺しにされますが、又兵衛は乳児で助命、岩佐は母方の姓）など著名な画家を福井に招き、全巻で数十巻、全長数百米に及ぶ『山中常盤物語絵巻』『上淨瑠璃物語絵巻』（両者とも、後に忠直家を継承した美作国津山藩松平家伝来、現在熱海M O A 美術館蔵、国指定重文）など、高価な絵の具や、豪華な料紙などの素材をふんだんに用いた大絵巻群を制作させました。本『平家物語絵巻』も、こうした福井藩主の贅沢な方針で制作された一群の絵巻の流れを受け継いだ作例と考えられます。忠直の正室が、二代将軍秀忠の娘の勝姫。その姉が、かつて豊臣秀頼の正室で、焼け落ちる大坂城から救い出された千姫。千姫の娘が備前国岡山藩主池田光政の正室となつており、福井松平家と岡山池田家もそのような姻戚関係で連なつているのです。

岡山の宝、林原美術館を本年もよろしくお願ひいたします。



企画展

「いろ 鳥どり」

平成29年4月11日(火)～5月14日(日)

古来より人は大空を舞う鳥に憧れ、美しさを愛でて画題として描くだけでなく、雄大な鳥に権力を重ね合わせたり、鳥で吉凶を占つたり、鳥の鳴き声に自らの

思いを託すなど、鳥は人の文化活動にとって深いか

かわりを持つてきました。

本展では西年にちなみ、館蔵の絵画や工芸品の中から鳥にまつわる作品を



諫鼓鳥香炉 正阿弥勝義作

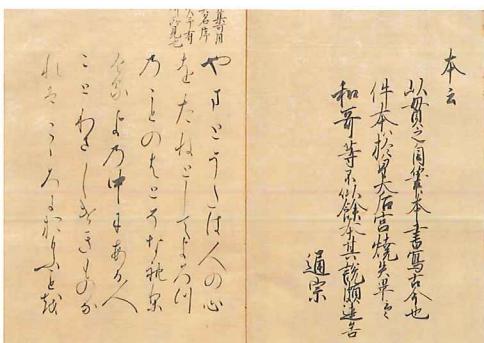
ご覧いただきます。

さらに重要美術品「太刀 無銘伝包平」など三口の刀剣を、「林原美術館の名刀」と題して特別展示いたします。

本展では、初代岡山藩主池田光政が創設した藩学校に掲げられた中江藤樹筆「至聖文宣王」や、藩学校奉行の市浦毅斎筆と伝わる『朱文公学規』、そして閑谷学校のお茶室「黄葉亭」にまつわる『黄葉亭記』など、岡山藩における“学び”を象徴する二つの学校に関する資料を展示します。あわせて光政自身が書写した経書や和歌の写本等から、近年注目されている藩主自身の“学び”についても紹介します。

「備前岡山藩の学び —藩主の教養・藩学校・閑谷学校—」

平成29年5月25日(木)～7月2日(日)



池田光政筆『古今和歌集』(清輔本)

「金重陶陽 没後50年展」

平成29年9月16日(土)～11月12日(日)

備前焼中興の祖と呼ばれる金重陶陽（1896～1967）は、備前焼の窯元六姓の一つである金重家に生まれました。様々な工夫と努力を積み重ね、陶陽は桃山風備前を再興させ、備前焼で初めて重要な重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

陶陽没後50年、今日の備前焼の隆盛の礎を築



金重陶陽 (昭和41年撮影)

いた陶陽の業績を偲び、初期の細工物から茶陶や食器類など陶陽の代表作約90点を一堂に展示し、陶陽芸術の全貌に迫ります。

重要文化財「清明上河図」（趙浙筆、1577年）は、当館が誇る中国絵画の代表作として知られていますが、実は当館には他にも多くの中国絵画が所蔵されています。このたび、東京大学東洋文化研究所の全面的なご協力のもと、これまで知られていないかった当館の中国絵画コレクションの全容が明らかになりました。本展ではこの成果を踏まえて、はじめてその全容を公開いたします。新たに確認された明・清の絵画の魅力をご堪能ください。



重要文化財 清明上河図(部分)

「中国絵画名品展(仮)」

平成29年7月15日(土)～9月3日(日)

特別展

「池田治政公200年遠忌記念 池田家の至宝と曹源寺(仮)」

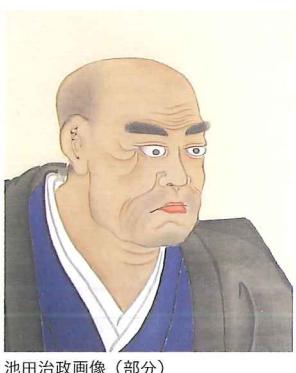
平成29年12月2日(土)～平成30年1月28日(日)

今年は池田家の菩提寺である曹源寺(岡山市中区)の伽藍整備に尽力した、第5代藩主池田治政の200年遠忌にあたります。これを記念して

曹源寺の至宝に当館所蔵の池田家資料を加え、特別展を開催いたします。また治政とともに生きた、松江藩主松平不昧に関する茶道具(松江歴史館所蔵)もあわせて展示いたします。

歴代岡山藩主の育んだ文化と、お茶をこよなく愛した池田治政の遺徳を偲んでいただきたいと思います。

池田治政公200年遠忌にあたります。これを記念して曹源寺の至宝に当館所蔵の池田家資料を加え、特別展を開催いたします。また治政とともに生きた、松江藩主松平不昧に関する茶道具(松江歴史館所蔵)もあわせて展示いたします。



「第12回 お守り刀展覧会」

平成30年2月6日(火)～3月25日(日)

全日本刀匠会が主催する「第12回 お守り刀展覧会」を、初めて当館で開催します。本展は現代刀匠の新作刀と外装のコンクール展で、総合の部一席には特賞として文部科学大臣賞が授与されます。

匠たちの崇高な魂と、個性豊かに表現された技とが結実した優品を皆様にご覧いた



第11回お守り刀展覧会
イメージ写真(平成28年度)

イベント

林原美術館講座

伝統文化をより広く、深く知つていただく機会として毎年「美術館講座」を開催しています。今年度は館長の谷一尚が「世界の鳥文様」と題して、工芸品に用いられる鳥文様について、楽しくわかりやすく解説します。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時…平成29年4月15日(土)

13時30分～15時

講 師…谷一尚

演 題…「世界の鳥文様」

場 所…林原美術館ロビー

定 員…30名(要予約)

参 加 費…500円(入館料別途)

特別講演会①

「光政と綱政」

本講演では、企画展「備前岡山藩の学び－藩主の教養－」の開催を記念して、岡山大学名誉教授倉地克直先生に、池田光政と藩学校閑谷学校との関係や思想的背景など、岡山藩の学びにゆかりの深い光政と綱政についてお話しいただきます。

日 時…平成29年6月25日(日)

13時30分～15時

講 師…倉地克直氏

会 場…林原美術館ロビー

定 員…50名(要予約)

参 加 費…500円(入館料別途)

「デジタル常設展」スタート

趙浙「清明上河図」をめぐって
～未公開資料の紹介も兼ねて

関西大学との共同研究により、世界トップクラスの技術で撮影した「平家物語絵巻」や国宝「太刀銘吉房などの超高精細画像(1,200dpi)」を、当館ロビーに常設しておられます。展覧会期間中(貸館中を除く)は、いつもご観いただけます。大迫力の画面で彩や筆遣いなどを体感ください!

また、当館を代表する資料を網羅した「林原美術館名品選」の画像も常時ご覧いただけます。また、当館を代表する資料を網羅した「林原美術館名品選」の画像も常時ご覧いただけます。また、当館を代表する資料を網羅した「林原美術館名品選」の画像も常時ご覧いただけます。

企画展「中国絵画名品展(仮)」の開催を記念して、当館所蔵の中國絵画を調査していただいた東京大学東洋文化研究所教授板倉聖哲先生に、中國絵画の見所や魅力を分かりやすくお話ししていただきます。

「金重陶陽の芸術」(仮)

現代工芸に造詣の深い東京国立近代美術館主任研究員の諸山正則先生をお迎えして、陶陽の三男で備前焼作家の金重晃介先生との対談形式による特別講演会を行います。備前焼の世界にとどまらない陶陽の業績をお話していただきます。

日 時…平成29年10月1日(日) 13時30分～15時

講 師…諸山正則氏

場 所…林原美術館ロビー

定 員…50名(要予約)

参 加 費…500円(入館料別途)

特別講演会③

「池田治政と松平不昧の茶の湯」(仮)

特別展「池田治政公200年遠忌記念 池田家の至宝と曹源寺」の開催を記念して、シンポジウムを開催いたします。神原邦男先生の基調講演の後、当館館長の谷一尚の司会により、熊倉功夫先生、神原先生、原田正道老師の3人の専門家によるディスカッションとなります。奮ってご参加ください。

日 時…平成29年12月17日(日) 14時～16時30分

講 師…熊倉功夫氏(MIHOMUSEUM館長)

場 所…原田正道老師(曹源寺住職)

定 員…300名(要予約)

参 加 費…無料(入館料別途)

イベント

「コンサート
「チエロの楽しみ
ソナタ&小品名曲—フランス篇」(仮)

毎年、ご好評をいただいております三船文彰氏のチエロコンサート。今年は、フランスゆかりの名曲を披露していただきます。チエロとピアノの優雅な音色を展示品とともにお楽しみください。

日時..平成29年5月27日(土) 開場18時 開演18時30分
出演..三船文彰氏 他
場所..林原美術館展示室内 特設ステージ
定員..70名(要予約)
参加費..友の会会員 2,700円
一般 3,200円(入館料込み)

お茶会「陶陽を偲ぶ茶会」(仮)

金重陶陽没後50年に当たる今年、茶碗など金重陶陽の作品を中心とした道具組で、金重晃介先生が亭主を務める「陶陽を偲ぶ茶会」を開催します。秋のひと時を、陶陽の作品とともに過ごされてはいかがでしょうか。

日時..平成29年10月21日(土)・10月22日(日)

場所..林原美術館内 茶室「竹明庵」
定員..各回80名(要予約)
参加費..1,000円(入館料別途)

周遊の旅

開催日程等は、ホームページ等で順次ご案内いたします。今年度も、皆様にお楽しみいただける旅を企画いたしましたので、ご参加をお待ちしております。

理事・評議員・監事のご紹介

代表理事 長瀬玲一	評議員 白井洋輔
理事 黒住章子	評議員 高次秀明
理事 越宗孝昌	評議員 原憲一
監事 武田修一	(五十音順)

※平成29年3月現在

ワークショップ

折り紙教室 《端午の節句 & 夏休み》

昨年の恐竜(ティラノサウルス)折り紙では、幼稚園生からご年配の方まで100名近くのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

今年も親子そろって、楽しいひと時をお過ごしください。

(お楽しみお土産付き)

講師..折り紙アーティスト 鈴持彰宏氏

場所..林原美術館ロビー
定員..各回30名(要予約)

参加費..100円(入館料別途)

兜(合) 《端午の節句》(二回開催)

日時..①平成29年5月3日(水) ②平成29年5月5日(金)
両日とも13時半~15時

端午の節句といえば、昔から災いが外から入るのを防ぐなどのため、五月人形や、鎧、そして「かぶと」を飾る風習があります。ちょっと豪華な「かぶと」の折り方をコツソリお教えします。



昆虫(カブトムシ)《夏休み》(二回開催)

日時..①平成29年8月5日(土) ②平成29年8月6日(日)
両日とも13時半~15時

今回は、ギリシャ神話最大の英雄ヘラクレスに由来する世界最大のカブトムシ「ヘラクレスオオカブト3D」に挑戦します。



所蔵品概要と建物のご紹介

林原美術館は、日本を代表する建築家の前川國男氏による設計で、岡山市に最初に開館した美術館です。場所は、岡山城二の丸の一部であった対面所(今でいう迎賓館)跡地になります。実業家でありながら、古美術を愛好し、高い鑑識眼を持つ故林原一郎氏が蒐集した古美術品と、旧岡山藩主池田家から引き継いだ大名調度品を中心に、刀剣・甲冑・絵画・書跡・能面・能装束・蒔絵の工芸品など、国宝3件、重文26件を含む、約9,000件の美術品を所蔵しています。

貸館制度のご案内

美術館という非日常の中でコンサート、お茶会・小会合などにご利用ください。

会場及び附属設備等使用料一覧(税込金額)

会場料	42,000円(最低保障金額・参加者50名以下)/友の会会員..1割引
ロビー使用料	10,000円(ロビーメイン使用の場合、20,000円)
ピアノ使用料	10,000円
ピアノ調律料	3,000円
参加者50名以上の場合	×50名を超えた人数
会場料+イベント開催時の展覧会入館料	
茶室使用料	20,000円(友の会会員..1割引)
※平成29年3月現在の内容となり、利用料金等改訂ございますので、ご確認ください。	
※附属設備等について、当館所有でないもの(レンタル品)が必要な場合はご相談の上、別途料金をいただきます。	
※お申込み詳細は、美術館スタッフまでお問い合わせください。	

「友の会」募集のご案内

- 有効期限
- 会員の種類・年会費
- 1年会員 平成29年4月1日~平成30年3月31日
- 会員の特典
- 入館料無料または割引料金
- 「企画展」に本人と同伴者1名様 無料
- 「特別展」に本人と同伴者1名様 割引料金
- 「展覧会・イベント」と「情報の送付」 「林原美術館NEWS」のお届け
- イベントへのご参加は会員割引料金(一部対象外)でのご案内
- 貸館の優待
- スタンプカードで当館関連グッズをプレゼント
- 入会の申し込みおよび詳細は、美術館スタッフまでお尋ねください。

〒700-0823 岡山市北区丸の内二二七一五
一般財団法人 林原美術館

TEL ○八六一二二三一七三三
FAX ○八六一二二六一三〇八九
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>